

大庄中部《未来につなぐ》まちづくり市民委員会について

1. 委員会設置の趣旨

大庄中部地域（国道2号以南、かつ、蓬川以西で工業専用地域を除く地域）は、尼崎市の高度経済成長とともに人口が急激に増加し、それともなって学校建設が一時期に集中するなど、学校配置密度が全市の中で最も高い地域ですが、人口減少と少子化が著しく、今後も学校の統合が行われる予定になっています。

学校跡地は地域の資産であり、また大規模な公有地であることから、その活用は大庄中部地域や本市のまちづくりに広く影響します。こうしたまちづくりは短期的な視点で判断するのではなく、長期的な将来を展望することが必要になります。

このようなことから、大庄西中学校跡地の活用を考えるにあたり、「未来につなぐ」まちづくりの広い視点から検討するため、市民委員会を設置します。

この委員会の設置期間は平成20年9月から平成21年10月頃までとし、20年度は大庄中部地域の現状や課題の認識、地域特有のテーマについてのワークショップ（勉強会）など市民中心の運営を行い、21年度は大庄西中学校跡地活用についての意見交換を行って、報告書をまとめていただきます。

なお、大庄中部地域の他の統合校の動向等によっては、さらに設置を継続することもあります。

2. 委員会の運営について（予定）

	20年度	21年度	22年度
市民委員会	9月発足	10月報告書	
専門委員会			5月設置 10月活用方針（案）策定
大庄中学校新築工事	6月着工	8月完成 引越予定	
琴浦住宅撤去工事	（仮）明倫住宅新築工事 転居	琴浦住宅撤去工事	

3. 委員の構成について

- (1) 「地域」を代表する自治組織として大庄中部地域にある社会福祉連絡協議会（10連協）から各1名
- (2) 「未来につなぐ」まちの主人公である子どもの代弁者として大庄中部にある小・中学校区（小学校5校、中学校2校）から各1名
- (3) 南部臨海部の「住民」たる工場等の意見を聴くため関係者1名
- (4) 公募市民・・・主に大庄中部地域在住の方で、地域のまちづくりに深く関心のある方（4名程度）

以上